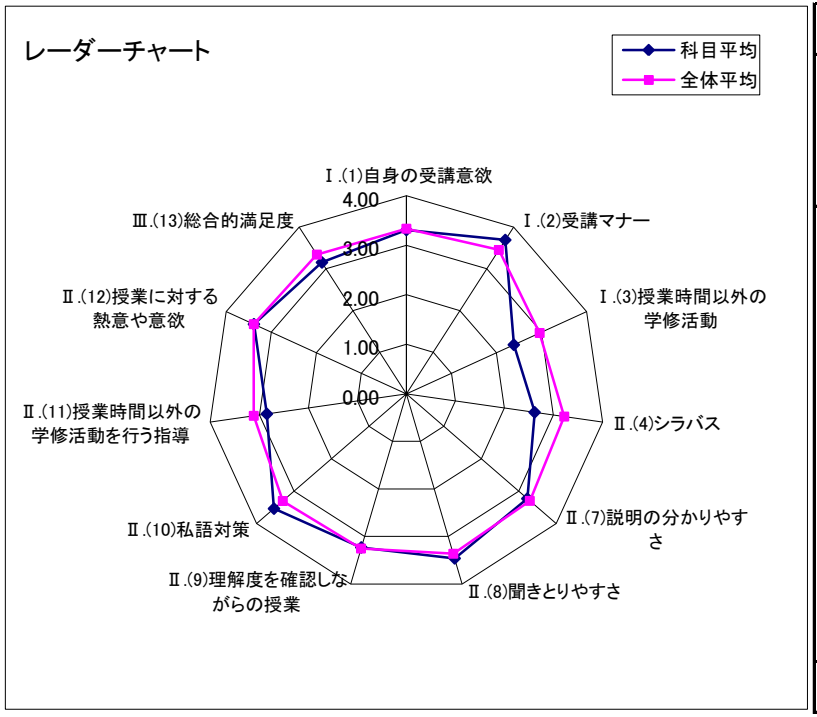
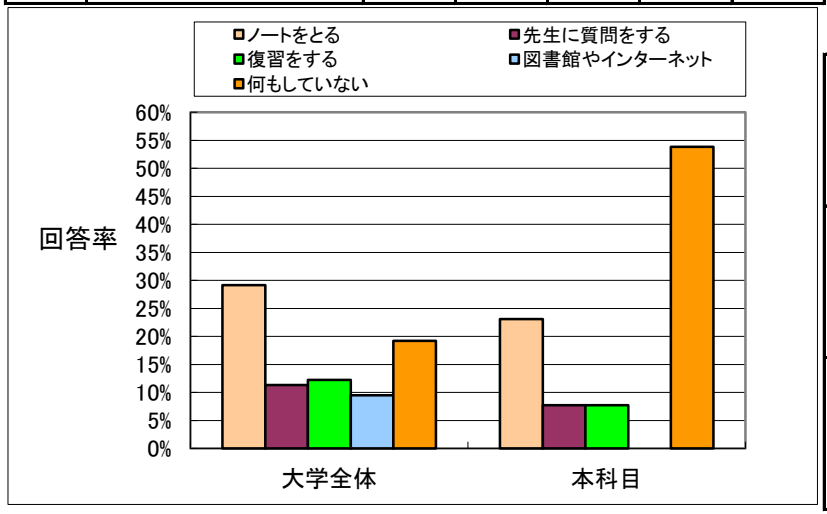
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.31	3.33
	Ⅰ.(2)	3.69	3.45
	Ⅰ.(3)	2.38	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.62	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.23	3.30
	Ⅱ.(8)	3.46	3.36
	Ⅱ.(9)	3.23	3.25
	Ⅱ.(10)	3.54	3.30
	Ⅱ.(11)	2.85	3.11
	Ⅱ.(12)	3.38	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.15	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	53.8%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.13	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.19	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.15	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	3433
科目名	日本語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

手紙文の書き方については、形式を学ぶことを目的に手紙を書かせた。9割の学生は理解できた。
続いての「論作文」「グラフ・表の分析」「考察の文章」「レポート・論文の書き方」は、基礎演習で「レポートの作成」について学んでおり、ここでは「グラフ・表の分析」「考察の書き方」に重点を置き授業を行う。
ところが、句読点が打てない。特に、読点が打てない者が多く、そこから始める。グラフや表の読み方、考察の文章作成は達成したとは言い難く、書く時の注意点を理解させる程度に止まる。試験では受講生の8割はこの注意点を理解できていた。「実践的な文章を適切に書くことができる」の達成度は、文章表現を学ぶ程度で終えた。

②授業の進め方について

クラブ生が多かったので、授業時間外の予習や復習・課題の提出は期待できないと考え、授業時間内で実践することを重視した。
　授業中の声や言葉、説明のわかりやすさについては問題はなかったと思われる。学生の理解度を確認するが、大人しく積極的な質問はなかった。
　学生の受講マナーは良く、私語もあまりなかったので、静穏な授業環境を保つことができた。
　授業内容は今年の受講生には少し難しかったようである。

クラブ学生が多いので、授業時間以外の学修活動を行うような指導はしなかった。授業時間内で練習問題をさせるなど実践させた。そのあとの答え合わせでは、全体的に声が小さく聞き取りにくかったのでもう少ししっかりと発言させるように努めるべきであった。
年度初めに行った「基礎テスト」では、全員が例年に比べて比較的に高い点数だったので、句読点なども打てるものだと思っていたが、実際に書かせてみると違うことが明らかになった。
書かれている文章に読点を打つのと、自分で文章を書いて句読点を打つのとは別物であることが判明したので、改善が必要を感じた。

奈良産業大学